

令和2年度周波数ひっ迫対策技術試験事務
成果報告書概要

案件名	良好な電波環境の維持のための設置場所測定方法の調査検討
契約先	エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー株式会社

1. 目的及び成果目標
高周波利用設備の設置場所における測定に関しては設置場所の特性に応じた測定方法について様々な課題があり、本技術試験事務では、それらの課題について整理するとともに、最適な測定方法に関する技術的検討を実施し、課題の解決を図る。
2. 試験実施概要
本年度は「主に医療機関での利用が想定される大型の高周波利用設備」が設置された施設2箇所において漏えい電波の実測を行い、検討した測定方法の有効性を確認した。併せて、目視や設置者へのヒアリングによる設備の設置状況、使用状況等の調査を実施した。 それらの設備を対象として、漏えい電波を適切に測定する上での様々な課題への対応について検討を行うとともに、国外動向等の調査を踏まえつつ、設置場所における測定を実施する際の手引きとして、ガイダンス案を取りまとめる検討を行った。
3. 得られた成果
「主に医療機関での利用が想定される大型の高周波利用設備」に対する設置場所における測定方法の検討を行い、それらの設備に対するガイダンス案を取りまとめた。また、高周波利用設備の種別によらない共通事項として、規定された距離で測定できないときの電界強度の距離換算方法について一定の見解を得た。さらに建物外部での漏えい電波の強度が極めて小さい設備については、測定・検証を効率化できる見込みがあることを得た。 検討した測定方法は、設置場所における測定を実施する際の手引きとしてガイダンス案に取りまとめる予定である。今後は、工場や住宅地域、公道等に設置される大型の高周波利用設備に対する測定方法の検討を実施し、ガイダンス案が多様な高周波利用設備の用途や種別また、それらの設置環境を包含するものとなるように取りまとめる。 また、引き続き、国際規格の動向等についても調査を行い、それらとの整合についても検討するとともに、漏えい電波の測定・検証の効率化に関する検討も行う。

お問い合わせ先	総務省 総合通信基盤局 電波部 電波環境課 電磁環境係 電話：03-5253-5905（直通）
---------	--